

実務連携会議の主旨

本事業では、県民健康指標の向上や農産物の高付加価値化に広く寄与する「システム・仕組みの構築」を目指しており、最終的には地域特産品活用と県民の健康指標の向上を結びつける。

新たに全て作るのではなく、今ある地域の知恵を集積し継続的にPDCAが回る産学官金地域連携の仕組み構築を目指している。

「元気シニア社会創出実務連携会議」は、健康長寿社会づくりを目的に組織横断体制(連携体制に示す)で立上げ、健康産業に繋がる「健康イノベーションセンター(HIC)」として仕組みの構想、企画化を行なっている。

主な取組は、健康寿命延伸(目標:平成25年基準で平成35年に2歳延伸)を課題に、運動と食とコミュニケーションを活性化させるHIC市町村モデルを提案し具現化推進する。基本構想は自治体(県市町村)の施策或いは団体の活動効果が市町村と個人ベースで「見える」仕組みを作り、健康維持・増進の定着を目指す。

又、要素手段としては、①和医大の「みなべ、かつらぎ、上富田」の特定地区に着目した疫学・コホート研究等の活用、②和大シニアエクササイズのインストラクター育成と普及を進め活動拠点の拡大・定着を図る地域の知を活用する。

健康長寿社会づくりネットワーク構築

元気シニア社会創出実務連携会議

- (目的) 和歌山県の特性を活かした
元気シニア健康推進の仕組づくり
- (構成) 和歌山県立医科大学、和歌山大学
県(保健福祉部、産業技術政策課)
市町村(紀ノ川市)
市民グループ(紀ノ川CC)
- (回数) 月1回 (これまで17回)

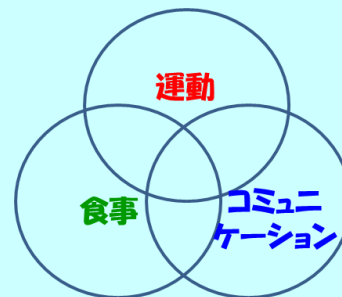
H25 現状取組、先進地域調査研究

H26

ネットワークの構築

定着・継続できる健康長寿社会

～地域特性に合った健康づくり～



1) ライフスタイル(食と運動とソーシャル
キャピタル)に着目した生活習慣病予
防研究と啓発

◎コホート研究(県立医大)

◎シニアエクササイズ(和歌山大)

2) HICネットワークとMS体制の構築

◎県・市町村・NPO等との連携

大学・団体の研究

- ・和大:シニアエクササイズ
- ・和医大:健康コホート研究
- ・高齢社会総合研究機構
- ・健康推進に係る現行制度
(健康運動指導士会、高齢者体力づくり)

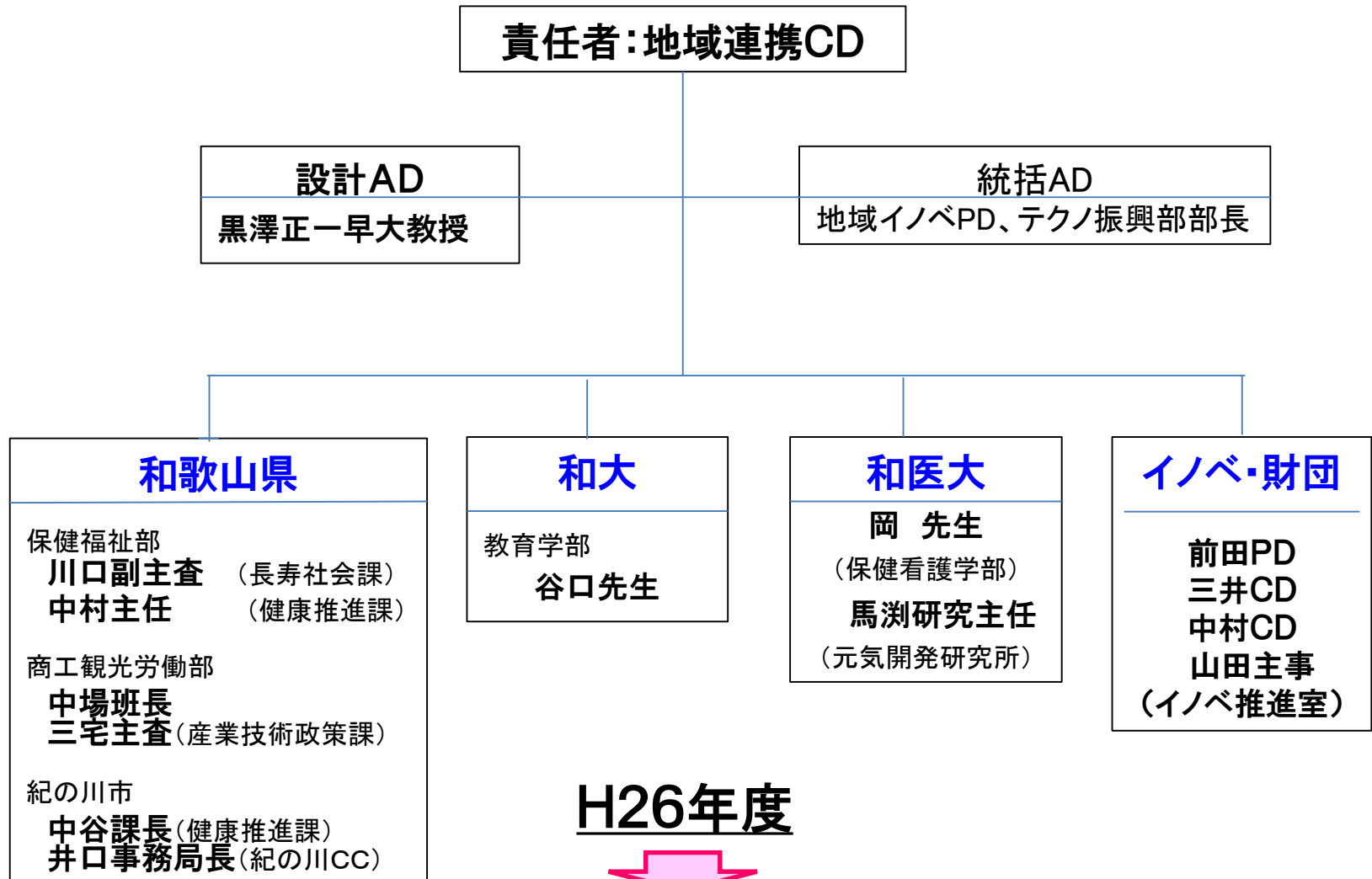
県・市町村の施策

- ・医療費適正化計画[県]
- ・保健医療(医療供給対策)
…療養病床再編成
- ・健康増進(生活習慣病対策)
- ・介護保険事業支援計画
(施設の整備、介護予防)

2013年:仕組み(構想)完了 2014以降:試行へ

元気シニア社会創出 実務連携会議メンバー

2014. 5. 14



H26年度



プログラムの実例を作る

(HIC準備室/HIC機能実例/ネットワーク化等)